

芸術文化選奨

受賞年度：令和3年度

受賞区分：文化賞（個人）

氏名又は団体名	かわい げんぼう（ほんみょう かわい たつひと） 川合 玄鳳（本名 川合 達人）		
代表者(団体のみ)		設立年(団体のみ)	
住所	名古屋市	会員数(団体のみ)	
ホームページ			

受賞時の業績概要

分野：書道

大学時代に金子卓義氏に師事し、古典を師として自分の書を確立せよとの教えのもと、王羲之を中心に唐以前の書を学んだ。同時に漢字大字と近代詩文書をよく研鑽し、その成果を早くに中央書壇で開花させた。誠実で堂々とした作風であり、数々の書展で受賞を重ねるだけでなく、校歌やイベントタイトル、商品ラベルの揮毫など、市民生活にも浸透して親しまれている。また、大学・高校の教壇に立ちつつ、書の教室「玄気会」を主宰し、後進の指導・育成にも力を注ぐなど、本県芸術文化の振興と向上に大きく貢献している。



第56回創玄展「楽易」（令和2年）

経歴・業績・近年の活動内容

【略歴】

昭和34年6月 名古屋市に生まれる
昭和57年3月 大東文化大学文学部日本文学科卒業
昭和57年4月 愛知県立瀬戸高等学校非常勤講師（現在まで）
平成9年7月 第49回毎日書道展詩文書部会員賞受賞
平成29年11月 改組 新 第4回日展五科特選受賞
令和2年11月 改組 新 第7回日展五科特選受賞
令和3年6月 中部日本書道会理事に就任

【近年の活動内容】

創玄展 出品（第55回から57回）（平成31年3月・令和2年3月・令和3年3月）
日本の書展 出品（第47回から49回）（令和元年6月・令和2年6月・令和3年6月）
毎日書道展 出品（第71回・72回）（令和元年7月・令和3年7月）